

愛知大学総合郷土研究所主催

「三河国八名郡田中新田松坂家文書目録」刊行記念講演会

松坂家の人々

（本家・飽海・中沢）

舒嘯主人賚風



三河国吉田藩の御用達松坂家は、家伝によると肥後藩主加藤広忠の重臣和田一政の一族でした。元和五年（一六一九）頃、初代兵左衛門が伊勢松坂から三河国宝飯郡豊川村に移住、さらに渥美郡仁連木（豊橋市）に移り、松坂屋と称して商いを始めました。土地経営などによって次第に財を築き、五代重穆からは吉田藩の御用達となり、苗字帯刀を許されます。六代重賜も藩への融資を重ね、御代官格へ昇格し、窮乏する藩の財政を支えました。五代以降移り住んだ田中新田（現牛川町）の屋敷には、吉田藩主もたびたび立ち寄っています。

松坂家の人々は旦那らしく和歌俳諧、漢詩などの文学や、茶華道、絵画などを嗜みましたが、時には絵や将棋、篆刻などその道で名を成す人も現れました。

今回は、松坂家に伝来した史料をひもとき、同家の歴史と人物をご紹介します。

2024 年
4 月 6 日（土） 13：30～

【場所】愛知大学豊橋校舎 6 号館 1 階 610 教室
【定員】150 名
【対象】どなたでも（事前申込不要、入場無料）

【講師】

藤井 奈都子 氏

（愛知大学非常勤講師・総合郷土研究所研究員）

愛知県豊橋市在住。松坂本家九代廉之輔の外孫にあたる。金沢大学大学院文学研究科修士課程修了。神戸女子大学大学院文学研究科博士課程修了。文学博士（日本文学）。豊橋市図書館羽田八幡宮文庫調査委員。専門分野は中世文学、日本芸能史、書誌学。



愛知大学図書館蔵
松坂家旧蔵本